

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	火防08 RO
提出年月日	令和3年2月5日

設工認に係る補足説明資料

【影響軽減対策における火災耐久試験結果の詳細について】

目 次

1. 目的	1
2. 内容	1
2.1 火災耐久試験の条件	2
3. 火災耐久試験結果の詳細	2
3.1 防火扉	2

1. 目的

本資料は、火災及び爆発防止に関する説明書6. に示す影響軽減対策における火災耐久試験結果の詳細について、補足として具体的に説明するための資料である。

2. 内容

火災耐久試験結果の詳細について次項以降に示す。

2.1 火災耐久試験の条件

2.1.1 防火扉に対する火災耐久試験の試験条件を以下に示す。(添付書類V-1-1-6抜粋。)

(a) 試験方法

建築基準法の規定に準じて第1.1.6-1図に示す加熱曲線(ISO 834)で3時間加熱する。

(b) 判定基準

第1.1.6-3表に示す建築基準法第2条第7号耐火構造を確認するための防火設備性能試験(防耐火性能試験・評価業務方法書)の判定基準をすべて満足する設計とする。

(c) 試験体


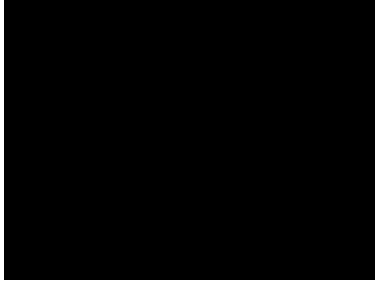
MOX燃料加工施設の防火扉の仕様を考慮し、第1.1.6-4表に示すとおりとする。

3. 火災耐久試験結果の詳細

3.1 防火扉

試験結果は、非加熱面側への発炎、火炎の噴出、火炎がとおる亀裂等の損傷等がなく、判定基準を満足していることから、防火扉は、3時間の耐火性能を有していることを確認した。試験前後の写真を第1表に示す。

第1表 防火扉の試験結果

項目		防火扉
試験開始前		
試験終了後 (3時間後)		
判定基準	・火炎がとおる亀裂等の損傷及び隙間が生じないこと。	良
	・非加熱面側に10秒を超えて発炎を生じないこと。	良
	・非加熱面側に10秒を超えて火炎が噴出しないこと。	良
試験結果		合格